国立国際教育院歓迎式挨拶（11 月 2 日 16:30　国立国際教育院）

私たちは、2026 年高校生訪韓団です。
今回の教育旅行にあたり、素晴らしいプログラムをご用意いただき、また、このような心のこもった歓迎レセプションを開催していただきましたことに、団員を代表して、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

韓国と日本は、長い歴史の中で深い関わりを築いてきました。その歴史には様々な出来事があり、現代においても、両国には複雑な課題があります。
だからこそ、私たちはその歴史や課題を十分に理解したうえで、互いの立場や文化を尊重し、相手を知ろうとすることが大切なのではないでしょうか。

ここにいる日本の高校生は、韓国の美しい自然、豊かな歴史と文化、そして韓国の人々の考え方や価値観に触れ、多くのことを学びたいと願っています。同時に、韓国の皆さまにも、日本の文化や社会について知っていただきたいと願っています。
異なる文化に触れ、自分とは異なる考え方に出会うことは、相手を理解するだけでなく、自分自身の考え方や価値観を見つめ直す機会にもなります。こうした韓国と日本の未来を担う世代の出会いこそが、相互理解を深め、両国の友好を育む確かな土台になると、私たちは考えています。

交流を積み重ね、互いの絆をさらに深めていきましょう。
そして、共により良い未来を築いていきましょう。

私たち訪韓団は、この５日間の経験を通して多くのことを学び、その成果や感動を帰国後、学校や地域の多くの人々に伝えてまいります。
この５日間が、私たちにとってかけがえのない学びの機会となり、韓日両国の未来を切り拓く大きな一歩となることを願い、私の挨拶といたします。
５日間、どうぞよろしくお願いいたします。

果川中央高等学校訪問挨拶（11 月 3 日 10：00　果川中央高等学校）

果川中央高等学校の皆さん、私たちは 2026 年高校生訪韓団です。本日は、私たちの訪問を受け入れていただき、誠にありがとうございます。
果川中央高等学校は、2000 年に設立された比較的新しい学校であり、科学重点学校として、AI やデータサイエンスなどの先端科学技術分野に力を入れている、非常に優れた学校と伺っています。そのような素晴らしい高校で、皆さんと一日を共に過ごせることを、大変光栄に思います。

ここにいる 30 名の日本の高校生は、11 月 1 日から 7 日までの 7 日間、韓国の歴史や文化を学ぶ施設の視察、日韓関係についての講義など、韓国への理解を深めるためのプログラムに取り組んでいます。
そして、韓国について学ぶだけでなく、日本を代表する高校生としての自覚を持ち、日本の文化や社会、その魅力を韓国の皆さんに伝えることにも挑戦しています。
本日は、その一つとして、日本文化を紹介させていただきます。この日のために準備を重ねてきましたので、ぜひ楽しみながら、日本の文化に触れていただければと思います。

韓国と日本との間には、国境という「線」があります。
では、高校生と高校生との間に、そのような「線」は必要でしょうか。

国や言葉、文化が違っていても、同じ時代を生き、同じように夢や希望を抱き、悩み、成長し、未来をつくっていく若者です。
今日一日、同じ高校生として、たくさん話し、たくさん笑い、互いの違いを楽しみながら、新しい発見をしてほしいと思います。

私たちに、韓国の美しい自然、豊かな歴史と文化、そして、皆さんが大切にしている考え方や価値観を教えてください。私たちも、日本の伝統文化や社会、そして、私たちが暮らす日本の魅力を、精いっぱい伝えたいと思います。

果川中央高等学校の皆さんと、私たち訪韓団との出会いが、韓国と日本のより良い未来へとつながっていくことを心から願っています。
今日一日、どうぞよろしくお願いします。素晴らしい思い出を共につくりましょう。